



## 1 国立大学図書館の現状と課題

著者	高橋 努
内容記述	研修：平成30年度大学図書館職員長期研修 主催：筑波大学 期間：平成30年7月2日～7月13日 会場：筑波大学春日エリア情報メディアユニオン2階情報メディアホール等
発行年	2018-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00153248">http://hdl.handle.net/2241/00153248</a>

## 国立大学図書館の現状と課題

東京大学附属図書館事務部長  
高橋 努

1. 大学図書館のミッション、目標・計画
  - ・大学の機能
  - ・大学図書館のミッション
  - ・国立大学図書館協会ビジョン 2020  
    知の共有、知の創出、新しい人材
  - ・中期目標と中期計画
  - ・大学の中での存在感と社会の中での存在感
  
2. 人材の育成・確保
  - ・大学図書館の職員
  - ・職員数の推移
  - ・職員の採用
  - ・図書館員の専門性
  - ・専門職の必要性
  - ・研修
  - ・大学を超えた協同事業への参画
  - ・人事交流
  - ・外部委託
  - ・ライン職とスタッフ職
  
3. 電子ジャーナルの問題
  - ・国立大学図書館協会プレスリリース
  - ・電子ジャーナルをめぐる状況  
    価格上昇、為替レート、消費税課税
  - ・値上がりの主な要因
  - ・パッケージ契約
  - ・大学図書館コンソーシアム連合
  - ・圧迫される図書購入費
  - ・ジャーナル問題に関する検討会
  - ・OA2020 をめぐる動向

#### 4. 東京大学の事例から

##### (1) 新図書館計画

- ・ 東京大学総合図書館
- ・ 新図書館が目指すもの：5つの理念
- ・ 工事等の進捗状況
- ・ 蔵書利用の担保と学習スペースの確保

##### (2) 学術資産等アーカイブズ事業

- ・ 目標・計画との関係
- ・ 学術資産とは
- ・ 事業体制
- ・ システム（リンク集、ポータル、リポジトリ）
- ・ 期待効果
- ・ 平成30年度の取り組み

#### 5. 国立情報学研究所との連携・協力、国の施策

- ・ 国立情報学研究所との協定書
- ・ 連携・協力体制
- ・ 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会
- ・ 第9期学術情報委員会